

## 第三学期終業式式辞

令和7年3月19日

### ※ 来年度に向けて・・・安心感を後輩に

つい先日3月1日に卒業生を送り出したばかりですが、今日は、一、二年生の終業式となりました。卒業式での卒業生の態度はすばらしく、御家族の皆さんや来賓の方に感動を呼び起こしていましたが、皆さんの卒業生を贈る態度も立派で、素晴らしい態度で卒業生を送り出してくれたこと感謝します。ありがとう。

皆さんは、この一年を振り返ってどうでしたか。昨年四月に赴任をして、「始めたら始まり」という言葉とともに、中学生がどういう気持ちで高校生活に期待して入学してくるかということをお伝えしました。今年度の重点努力目標は「文武両道 情理一体 人間力を高めあい 夢の実現を 一伝統を継承し、地域とともに未来へ向かう」でした。生徒会スローガンは「It's 笑 time! ～輝く笑顔 あふれる思いで～」でした。6月の県総体出場は、100名で、何年かぶりの3桁出場となりました。出場者は増えたけれど、県大会の壁に阻まれたので、来年度は多くの県大会出場者を期待するとともに、更に県大会で勝ち進めるようにこれから力をつけてください。野球部も新チームで秋の大会において好発進をしたので、今後の大会に期待しています。吹奏楽部、日本音楽部、経済研究部など地域と繋がり、大いに小松、西条を盛り上げてくれました。

皆さんは学年が一つ進み、体育大会、小松高祭などいろいろな学校行事に対して、役割も変わってきます。安心感を後輩に与えられるように準備をお願いします。

### ※ 大きなことを達成するために・・・目標に応じた準備がある

今年、私は節目の年 60 歳還暦を迎えます。自分自身はまだやれると思いつつも、なかなか成長しない自分をいろいろなところで感じるようになりました。先日、愛媛マラソンを走りました。二学期の終業式ではまだ、毎日走っていますと自信を持って言えましたが、冬休みあたりから腰痛がひどくなり、歩くのも痛みでままならない時期があり、中断しています。愛媛マラソンの一週間前は痛みがピークでした。妻と娘二人家族全員が抽選に当たったので家族全員で出場できる機会はそうはないと頑張りました。月原先生や松浦先生も出場されており私よりはるかに速いタイムで完走されています。もともと走るのが苦手でしたがフルマラソンを走るきっかけは 20 歳代半ばで出会った先輩の先生の影響です。実は、野球部の宇佐美監督が高校生の時の監督だった方です。素人が 42.195km を完走するために、準備物やペース配分など教えてくださいました。えひめマラソンのタイムリミットは6時間ですが、当時出場した大会は5時間だったので、必ず4時間台では走らねばならず、私には過酷でした。よくいっしょに走っていただきました。遅いなりに、成長している自分を感じました。

あなたたちの年代は、何をしても進歩、成長できると思います。しかし、若さゆえの過信であったり、やればできると思うだけだったり成果につながらないこともあります。何事も目標に応じた準備がある。大きなことを達成するためにはその道に詳しい先生や指導者と計画を立て進めること。そうすれば必ず能力以上の成果が出てきます。人それぞれに目指すところや目標が異なると思いますが、この春休みに自分の思い描く来年度に向けてよい準備をし、新年度元気な顔で会えることを願い、3学期の終業式の式辞といたします。